

グローバル人材育成事業

京都企業と連携した 次代の京都を担う人材の育成事業

What Do You Learn?



年次報告書



目次

I.事業概要

II.活動概要

III.プロジェクト紹介

1. 社長のかばん持ち Project 「京都西南ロータリークラブ会員企業」
2. 金融業界探究プロジェクト～コミュニティバンク・京都信用金庫～ 「京都信用金庫」
3. 夏祭り企画 Project～京の七夕編～ 「堀川と堀川通りを美しくする会会員企業」
4. SUMMER PBL CAMP 2019～SDGs×陶器～ 「株式会社陶葺」
5. SUMMER PBL CAMP 2019～SDGs×働く環境～ 「西垣金属工業株式会社」
6. SUMMER PBL CAMP 2019～SDGs×金襴・絹織物～ 「伴戸商店株式会社」
7. 服を通じて、豊かな未来を『服がつなぐ、未来PJ』 「株式会社ジーユー」
8. I and I make it ! Project～子供食堂・学生自習室～ 「株式会社エクスクラメーション・スタイル」
9. 業界探求プロジェクト～食品加工業界・京の味～ 「株式会社サン食品」
10. 文化探究プロジェクト～織物編・ホンモノを作り続ける誉勤商店～ 「株式会社誉勤商店」
11. 京都中小企業家同友会×GLOCAL～合同企業説明会に新しい風を！～ 「京都中小企業家同友会」

I .事業概要

Ⅰ. 「京都企業と連携した次代の京都を担う

人財の育成事業（略称：グローバル人財育成事業）」 概要

1.背景

京都市は、38の大学と短期大学が集まり、人口の約1割近くに相当する14万人を超える学生が学ぶ、大学のまち・学生のまちである。大学や学生は、都市として持続・発展していく活力をもたらす、貴重な財産であると考え、京都市では、大学政策を都市政策として取り組んできた。

また、今の社会情勢や経済界からの要請を考えると、大学で学ぶ専門性と社会を結び付けていく、しっかりとした人財を世に送り出すことが求められている。

こうした状況から、本事業は、京都市の大学政策の基本指針である「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018」における、「学生の進路・社会進出の支援」でのリーディング施策として位置づけられている。

2.趣旨・目的

大学や国籍の枠を超えた留学生を含む学生を、グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持った「グローバル人財」として育成するとともに、学生と企業がお互いを知る機会を創出することを目的とする。具体的には、多様な主体からなる学生チームによる、京都企業との骨太な連携プロジェクト（PBL型）を実施する。

このプロセスを通じて、明日の京都を支える人財を育成する。

- ① グローバル人財の育成
- ② 学生と企業の出会いの機会創出
- ③ 学生へのグローバルかつ実践的な協働経験の創出

グローバル人財：グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持つ人財

PBL：アクティブラーニングに位置づけられる実践的教育手法

Project Based Learning（課題解決型学習）

II.活動概要

II.活動概要

■概要

グローバル人材育成事業の委託を受けた、特定非営利活動法人グローバル人材開発センター（以下、グローバルセンターと略）が、企業と連携したPBL（課題解決型学習）型プロジェクトの開発・運営を行った。企業が抱えている課題を、企業とグローバルセンターがともにプロジェクト化し、大学の垣根を越えた学生の混合チームで取り組んだ。チームは留学生を含む大学生・大学院生による5~7名のチームで構成されており、学生はプロジェクトを通じて、社会における実践的な力を養い、連携企業についての知識はもちろんのこと「働く」や「仕事」について深く学び、考えるマインドを身に付けた。

プロジェクト開始時に京都企業に関するレクチャーを実施し、企業を見る目を養い、日々の企業との連携から京都企業の魅力を体感し、京都企業の魅力を知る機会が創出されるよう、プロジェクトの設計を行った。

プロジェクト設計

- ① 社会人としての基礎力、ジェネリックスキルの養成
- ② 「企業」「仕事」「働く」の本質を捉えながら熟考
- ③ ダイバーシティ（多様性）を活かすグループワーク

<特徴>

- ・PBL型プロジェクト（学生が連携先からの課題に取り組む）
- ・5名程度の日本人学生、留学生の協働チームでの取り組み
- ・企業へのインタビュー、京都企業に関するレクチャーを必須

これからの社会と企業活動はますますグローバル化し、かつボーダレス化していく。本事業では、こうした将来の社会を見据え、学生時代から、多様な文化的背景・社会的背景を持つ主体から構成される集団において、リーダーシップ・フォロワーシップの経験を積むことができるよう、プロジェクトの開発・運営を進めた。

令和元年度＜参加人数・プロジェクト数＞

参加学生

76人



日本人学生 **60**人

留学生 **16**人

実施プロジェクト数

11プロジェクト

6年間（H26～R1年度）の実績

参加学生数・プロジェクト数

参加学生数

373人

日本人学生 **292**人

留学生 **81**人

プロジェクト数

61プロジェクト

※グローバル人財育成事業は平成26年度から開始され、令和元年度に6年目を迎えた。

参加学生の所属大学一覧

計
23大学・大学院

- 【大学】
- ・ 大谷大学
 - ・ 京都大学
 - ・ 京都先端科学大学
 - ・ 京都外国語大学
 - ・ 京都工芸繊維大学
 - ・ 京都産業大学
 - ・ 京都情報大学院大学
 - ・ 京都女子大学
 - ・ 京都造形芸術大学
- ・ 京都橘大学
 - ・ 京都府立大学
 - ・ 京都文教大学
 - ・ 花園大学
 - ・ 同志社大学
 - ・ 同志社女子大学
 - ・ 佛教大学
 - ・ 龍谷大学
 - ・ 立命館大学
 - ・ 京都経済短期大学
- ・ 京都外国語短期大学
 - ・ 光華女子大学
 - ・ ノートルダム女子大学
 - ・ 京都嵯峨芸術大学
- 【大学院】
- ・ 京都産業大学大学院
 - ・ 京都大学大学院
- ※順不同

連携・協力先<企業・団体>

50企業・団体

京都信用金庫
株式会社ケービデオイス
株式会社ブリッジコーポレーション
和晃技研株式会社
京都高度技研研究所 (ASTEM)
京都朱雀ロータリークラブ
NPO法人クリエイター育成協会
株式会社美京都
株式会社太鼓センター
都タクシー株式会社
株式会社大垣書店
岩井木材株式会社
株式会社リーフ・パブリケーションズ
株式会社CRETARIA
株式会社特殊高所技術
株式会社レドネスタ
京都観光オープンデータ協議会
有限会社中小企業診断所エス・ピー・シー
日新電機株式会社
株式会社丸嘉
西垣金属工業株式会社

叡山電鉄株式会社
株式会社フラットエージェンシー
株式会社フーズジャパン
佐々木酒造株式会社
京都オスカークラブ
株式会社ドレスクリエイト
NPO法人 OUEN JAPAN
株式会社三笑堂
株式会社ビジネスプラスサポート
株式会社メディアエージェンシー
株式会社フジタ
株式会社川勝總本家
株式会社キャミー
株式会社worldlink & company
株式会社世代継承活学社
増田産業有限会社
株式会社ヒューマンフォーラム
株式会社OPA
株式会社ライフ住宅販売
株式会社タナベ
株式会社伴戸商店

株式会社陶あん
株式会社エクスクラメーション・スタイル
株式会社誉勤商店
株式会社サン食品
西南ロータリークラブ
堀川と堀川通りを美しくする会
京都中小企業家同友会
株式会社ジュー

※順不同

III. プロジェクト紹介

学生募集チラシ

京都市 京都企業と連携した次代の京都を担う人財（担い手）の育成事業
グローバル人材育成事業

京都企業× 大学生&留学生 課題解決プロジェクト参加メンバー募集



STEP1

グローバルセンターに
メールor電話orWEBから連絡



STEP2

コーディネーターと相談
プロジェクト選択



STEP3

プロジェクトチーム結成！
プロジェクトスタート

募集期間

随時募集

(2019年4月~2020年3月)

参加費

無料

活動期間

短期 (5日~2ヶ月)

長期 (3~6ヶ月)

参加対象

大学生・大学院生・短期大学生・留学生

(大学コンソーシアム京都加盟大学に所属する学生を対象)

参加者の声



能谷大学 3回生
櫻井美優希さん
OPA REINVENT
PROJECT参加

学校だけではできない学びがしたいと思いプロジェクトに参加しました。

学生が出したアイデアに対して企業の方から意見を頂くことができる貴重な経験ができたり、アイデアの出し方や話し合いの進め方から学ぶことでとても勉強になりました。

また年齢や大学、国籍を超えたチームで活動することで、1人では思いつかなかったアイデアが生まれ、考える視点を広げることができました。

他にもこんな声をいただいています！

- ・リーダーシップを学ぶことができました！
- ・チームで課題を解決する力が身につきました！

実施場所

グローバルセンターオフィス 他 京都市内
(京都市上京区甲斐守町97番地 西陣産業創造会館 2F)

プロジェクト一覧&お問い合わせはこちら

NPO法人グローバル人材開発センター

TEL: 075-411-5010

詳しくはWEBで！
プロジェクト一覧は
こちらのQRコードから！



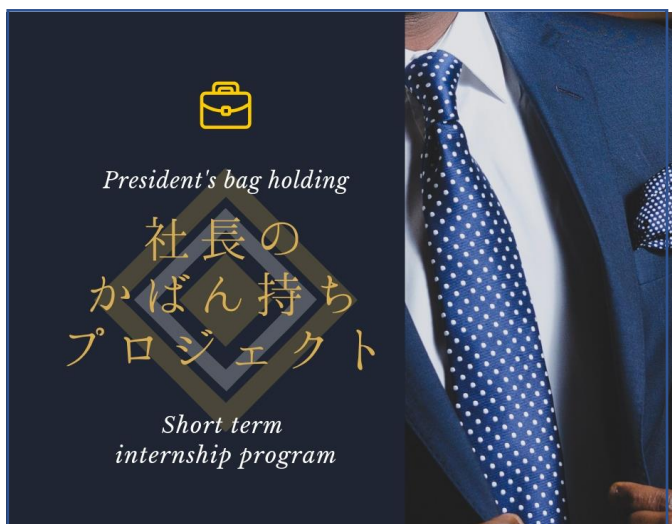
MAIL: info@glocalcenter.jp

電話、メール、WEBお問い合わせからお申し込み下さい！



①社長のかばん持ちProject

連携企業：京都西南ロータリークラブ会員企業



■実施時期
2019年5月～6月

■参加者 合計：7名
京都産業大学（3名）
京都先端科学大学（留学生1名）
同志社大学（2名）
龍谷大学（1名）

■学生への課題

京都企業の社長の1日に密着し、
企業の魅力を発信せよ！

■概要

京都の中小企業の社長に1日に密着し、京都企業の魅力や社長のお仕事を学ぶことができるプロジェクト。

中小企業の社長の出勤から退勤までの時間をともにし、企業内での打合せや、取引先企業との打合せまで同行し、密着から見えてきた魅力をまとめ記事の作成を行った。

■プロジェクトの結果・学生の学び

社長の1日に密着することで、京都企業（特に中小企業）が持つ「人と人との関係性」を大切に仕事をすることや、社長の「自分の仕事を心から好きになること」という仕事に対する想いを学んだ。

また、密着した内容を記事としてアウトプットすることで、京都企業の魅力を大学生の視点から発見することができた。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

事前ワークショップ

企業との顔合わせ
ビジネスマナー講座



Think

アイデアを出す
発想する

社長のかばん持ち

社長の1日に密着
インタビューの実施

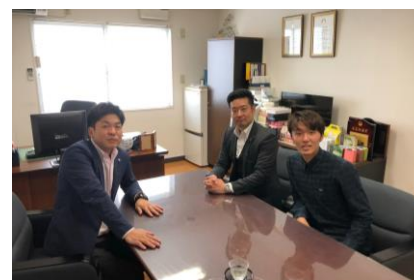


Create

形にする
創造する

記事作成

1日密着の様子や企業の魅力を
記事として作成



事後ワークショップ

プロジェクトの振り返り



Act

実行する

記事のブラッシュアップ

企業からフィードバックを受け
記事を修正

活動スケジュール

日程	内容	場所
2019年5月	<ul style="list-style-type: none">○事前ワークショップ<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認、整理・京都企業についてレクチャー・企業との顔合わせ・ビジネスマナー講座○調査<ul style="list-style-type: none">・企業、業界研究○企業訪問<ul style="list-style-type: none">・社長の1日に密着・インタビュー○記事作成1<ul style="list-style-type: none">・記事の作成、添削	グローバルセンター オフィス 連携企業オフィスなど
2019年6月	<ul style="list-style-type: none">○事後ワークショップ<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの振り返り・学生と企業の感想共有○記事作成2<ul style="list-style-type: none">・記事の作成、添削・企業人から学生へのフィードバック	グローバルセンター オフィス

○作成した記事（一部抜粋）

カバン持ちをさせていただいた会社：株式会社奥村企画

和装品の製造卸会社として設立。上海伊勢丹を中心に京都物産展などを開催。現在は中国への日本の飲食業の出店コンサルタント、伝統工芸品の販売、京都の伝統工芸品を中心に揃えたアンテナショップの運営管理及び物産展の企画運営をしている。

奥村謙介さんのプロフィール

1975年5月生まれ。大阪での大学卒業後は大手ゼネコンの就職。約5年半のサラリーマンの後父親が創業した和装製造卸の会社に就職。昨今の和装業界の低迷を危惧し、2009年に輸出事業部を立ち上げる。2016年輸出事業部が本業（和装小物製造卸部門）の売上を超えたのを機に代表取締役役に就任。

カバン持ちをした一日のスケジュール

9時15分集合→社内打ち合わせ、弊社の会社概要説明→10時30分 ①平和製菓 香港向け商材生産工場視察→12時00分 移動ランチ→13時30分②TEOKAFON(飲食事業)打ち合わせ→15時00分 ③京都商工会議所 補助金申請に係わる打ち合わせ→16時00分 ④異業種交流会 KYOOHOO 会議→16時30分 総括→17時00分 解散

- ① 工場見学ではモノを売る現場に立った時のスタッフやお客さんから質問にしっかりと答えられるように自分の目でしっかり見て、思ったこと生産管理者に質問していた。
- ② 現在のお店のことしっかり把握しており、どのようなお客さんの足を運んでほしいかターゲットを絞りそれに合わせた商品(食べ物)を従業員の方と考えていた。



③先ほどのお店でターゲットの客層により足を運んでもらえるように内装工事实施に伴う補助金を申請。申請にはいくつかの壁があり目的や動機を明確にしなければ審査を通過することができない。

④様々な業種の方が海外でものを売るために意見を交換していた。どのような商材が売れるのかを中心にととても楽しそうに意見を交換していた。



②金融業界探究プロジェクト～コミュニティバンク・京都信用金庫～ 連携企業：京都信用金庫



■実施時期
2019年6月～11月

■参加者 合計：7名
京都大学（留学生1名）
京都産業大学（1名）
京都ノートルダム女子大学（1名）
佛教大学（2名）
龍谷大学（2名）

■学生への課題

京都信用金庫本店の
「食堂のリニューアルアイデア」を提案せよ！

■概要

コミュニティバンクとして、地域社会の発展、地域の絆づくりを手掛けておられる京都信用金庫と一緒に、社員食堂のリニューアルアイデアを提案するプロジェクト。

企業で働く人が使いやすいようにとアンケートを実施し、その結果から社内での風通しの良さをテーマに提案を考えた。

■プロジェクトの結果・学生の学び

コミュニティバンクの由来や思いから、地域とのコミュニケーションを大切にするためには、まずは社内の風通しの良さから。というテーマで、食堂の改善案を提案した。

信用金庫という地域金融機関との連携を通じて、地域における金融機関の役割や、その影響力の大きさを学んだ。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業について調査



Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

食堂の改善案をチームで立案



Create

形にする
創造する

アンケート実施

京都信用金庫本店の職員さんへ
食堂利用に関するアンケートを実施



企画のブラッシュアップ

フィードバックを受け企画を修正



Act

実行する

最終報告会

食堂の改善案を提案

活動スケジュール

日程	内容	場所
2019年6月	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング、事前学習<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認、整理・京都企業についてレクチャー・企業、業界研究○調査<ul style="list-style-type: none">・金融機関について・信用金庫について	グローバルセンター オフィス
2019年7月	<ul style="list-style-type: none">○企業訪問1<ul style="list-style-type: none">・顔合わせ・インタビュー・食堂の見学○グループワーク1<ul style="list-style-type: none">・食堂の改善案の企画立案	グローバルセンター オフィス 京都信用金庫本店
2019年8月	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク2<ul style="list-style-type: none">・アンケート作○アンケート実施<ul style="list-style-type: none">・アンケートの配布・アンケートの集計・アンケートの分析	グローバルセンター オフィス
2019年9月	<ul style="list-style-type: none">○調査2<ul style="list-style-type: none">・社員食堂を活用した取り組み事例について・企業における食堂の役割について○グループワーク3<ul style="list-style-type: none">・食堂の改善案の企画立案・アンケートの結果をもとに企画を修正	グローバルセンター オフィス
2019年10月	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク4<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション準備・提案資料作成・企画のブラッシュアップ○グループワーク5<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーションについてレクチャー・プレゼンテーション練習	グローバルセンター オフィス
2019年11月	<ul style="list-style-type: none">○企業訪問2<ul style="list-style-type: none">・最終報告・企業から学生へフィードバック○事後学習<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの振り返り	グローバルセンター オフィス 京都信用金庫本店

○提案資料（一部抜粋）

京都信用金庫様の本店を訪問した際の印象～企業編～

- 福利厚生が整っており、お客様だけでなく社員さんの働く環境が良い
- 幅広い仕事
- 働き方が多様
- お客さんとの距離が近い
- カジュアルフライデーを実施しており、個人の個性を尊重している
- HPIに「緑化」に配慮していると掲載されていたが、植物が少ないイメージ

京都信用金庫様の本店を訪問した際の印象～食堂編～

- 明かりが少ない
- 京野菜バイキングを実施しており、地域に根ざした食堂である
- 中庭が殺風景
- 本が古い
- 開放的な空間だが活かしていない
- 1人席が少ない
- 座席が少なく混雑しそう

こんなに良い企業さんなのに今のままでは…

お昼休憩が一番の楽しみであるから、環境を改善して仕事のモチベーションをあげる必要がある！！

～お昼が楽しみになる～

「快適でつながりのある心地よい食堂」

アンケート結果から・・・
京信の社員さんが求めていることを最優先



- ・利用しやすい → 機能面
- ・社内間のつながり → 社会面
- ・落ち着ける空間 → 環境面



「快適でつながりのある心地よい食堂」

京都信用金庫さん・・・コミュニティバンク

地域と会社のつながりを持つ前に**社内**のつながりを大切に！

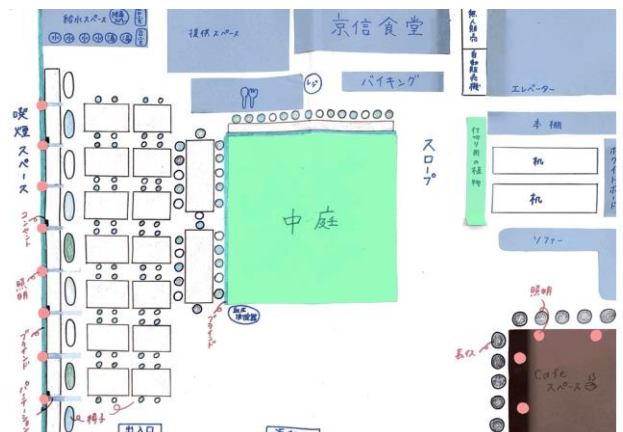
つながりは、コミュニケーションから生まれる！

仕事のこともそれ以外の雑談など・・・
すべてのコミュニケーションが業務生産性の向上につながる！

・・・まずはその**きっかけづくり**から始めましょう！

機能面

- 1人・個人の空間を確保する
- お茶・水を入れる場所を変え、台数を増やす
- テーブルを丸から長方形に変える
- カバンを引っ掛けられる椅子に変える
- コンセント・wifiを完備する
- カフェ空間を充実させる(コーヒーマーカアの増設、デザート置く等)
- パンや麺類の自動販売機又は無人販売スペースを設置する



③夏祭り企画Project～京の七夕編～

連携企業：堀川と堀川通りを美しくする会



■実施時期

2019年7月～9月

■参加者 合計：10名

京都大学（留学生1名）

京都情報大学院大学（留学生1名）

京都女子大学（留学生1名）

京都文教大学（2名）

嵯峨美術大学（留学生1名）

佛教大学（4名）

■学生への課題

京の七夕の来場者80万人を感動させるテントと地域の子供たちを楽しませるブースをプロデュースせよ！

■概要

「京の七夕」という80万人を超える来場者の大きなお祭りでは、来場者を感動させるテントの企画と、地域の子供たちが楽しめるブースをプロデュースするプロジェクト。

ミラーフィルムとLEDライトを使った幻想的なプラネタリウムと、輪投げ、うちわ作りのブースを企画し実行した。

■プロジェクトの結果・学生の学び

自分たちが一から企画し作成したブース（プラネタリウム、うちわ作り、輪投げなど）を出展し、地域の住人や訪れた観光客との交流を行った。

企業と連携し地域のお祭りに参加することで、企業が地域の活動に参加する意義や、京都ならではの地域に密着した文化的な活動の大切さを学んだ。

プロジェクトの流れ & 活動写真

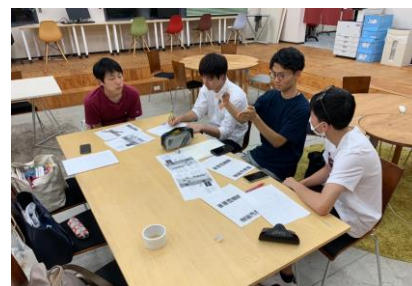


Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業
京の七夕について調査



Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

京都の七夕についてヒアリング
イベント会場の下見



企画立案

プラネタリウム企画と
子供が楽しめるブースを立案

Create

形にする
創造する

中間報告

企画について提案



企画の実施に向けた準備

当日までの準備
ブース作成

Act

実行する

京の七夕

ブースの運営を実施



活動スケジュール

日程	内容	場所
2019年7月	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認・京都企業についてのレクチャー・企業、業界研究○調査1<ul style="list-style-type: none">・京の七夕について○企業訪問1<ul style="list-style-type: none">・インタビュー・京の七夕に関するレクチャー	グローバルセンター オフィス 堀川と堀川通りを 美しくする会
2019年8月	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク1<ul style="list-style-type: none">・ブースの企画立案○グループワーク2<ul style="list-style-type: none">・会場の下見・ブースで使用する備品の作成○グループワーク3<ul style="list-style-type: none">・会場設営・ブースで使用する備品の作成○イベント実施<ul style="list-style-type: none">・京の七夕当日ブース運営	グローバルセンター オフィス 京の七夕堀川会場
2019年9月	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク4<ul style="list-style-type: none">・会場撤収・備品整理○事後学習<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの振り返り	グローバルセンター オフィス

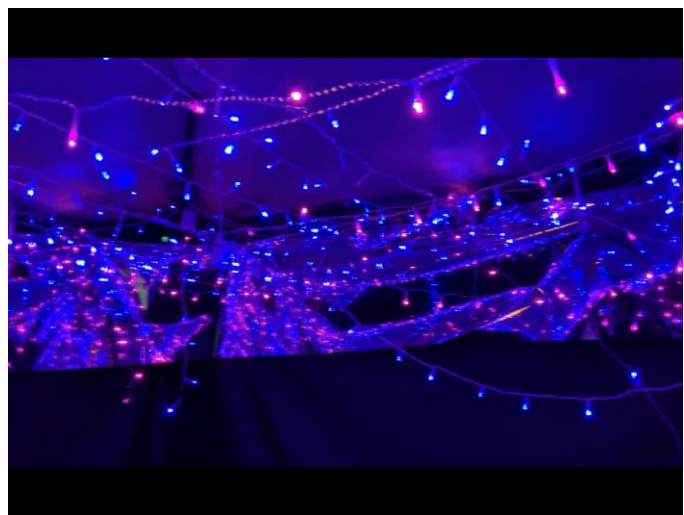
○京の七夕の当日写真



学生が考えた電飾



ブースでの交流の様子



作成したプラネタリウム



作成したパネル



ブースでの学生の様子



Tシャツデザイン

④SUMMER PBL CAMP 2019~SDGs×陶器~

連携企業：株式会社陶葺



■実施時期

2019年8月26日～30日（短期PJ）

■参加者 合計：7名

京都産業大学（3名）

京都精華大学（留学生1名）

同志社女子大学（留学生1名）

龍谷大学（2名）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを提案せよ！

■概要

大学生の夏休み期間を利用し、短期プロジェクトを実施します。オスカー認定企業と連携し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを5日間で学生チームが提案する、短期集中インターンシップ型の課題解決プロジェクト。

5日間という短い期間の中で、「若い世代に向けた陶器作りの体験イベント」というアイデアの提案を行った。

■プロジェクトの結果・学生の学び

陶器がこれからも100年、200年と使い続けられるために、若い世代へのアプローチについて「記憶」をテーマに提案を行った。SDGsという世界的な視点から京都の伝統工芸を考えたことで、時代に合わせて変化しながらもブレない芯を持つ「京都企業」についての理解を深めた。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業について調査



Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

課題解決に係るヒアリングを実施



企画立案

企業におけるSDGsの取り組みを
チームで立案

Create

形にする
創造する

中間報告

他の夏季プロジェクトメンバーへ
企画の途中経過を報告



企画のブラッシュアップ

他のプロジェクトメンバーから
フィードバックを受け企画を修正

Act

実行する

最終報告会

若い世代に向けた陶器作りの
体験イベントを提案

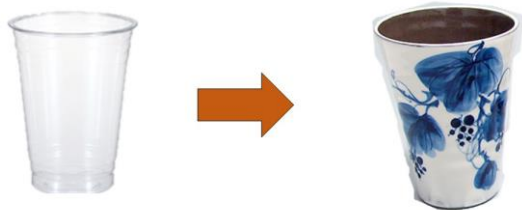


活動スケジュール

日程	内容	場所
2019年8月26日	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認・京都企業についてレクチャー・チームビルディング○プロジェクト進行レクチャー<ul style="list-style-type: none">・会議の進め方についてレクチャー・スケジュール作成○調査<ul style="list-style-type: none">・企業、業界研究・企業へのインタビュー項目作成○ワークショップ<ul style="list-style-type: none">・2030SDGsカードゲーム	グローバルセンター オフィス
2019年8月27日	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク 1<ul style="list-style-type: none">・企業が取り組むSDGsの企画立案○企業訪問<ul style="list-style-type: none">・顔合わせ・課題解決に係るインタビュー○グループワーク 2<ul style="list-style-type: none">・企業訪問の振り返り・企業の魅力を抽出	グローバルセンター オフィス 株式会社陶葺
2019年8月28日	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク 3<ul style="list-style-type: none">・企画書の作成・提案資料の作成○中間報告<ul style="list-style-type: none">・夏季PBL参加学生内で進捗報告・企画へのフィードバック○グループワーク 4<ul style="list-style-type: none">・企画のブラッシュアップ	グローバルセンター オフィス
2019年8月29日	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク 5<ul style="list-style-type: none">・企画のブラッシュアップ・提案資料の作成○プレゼンテーションの練習<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーションのレクチャー・プレゼンテーションの練習○最終報告会の準備<ul style="list-style-type: none">・提案資料の準備	グローバルセンター オフィス
2019年8月30日	<ul style="list-style-type: none">○最終報告会<ul style="list-style-type: none">・企業の魅力を活かしたSDGsの取り組みを提案・企業からのフィードバック・交流会○事後学習<ul style="list-style-type: none">・5日間の振り返り	グローバルセンター オフィス

○提案資料（一部抜粋）

全てのプラスチックから
陶器へ！！



2-1 陶葺様の魅力 会社編



2-1 陶葺様の魅力 商品編



陶葺様の現状



1. 購入層の若者離れ



2. 日本人の売り上げが減少傾向



3. 後継者不足

2-3 陶葺様が目指したい方向性



3-2 若者に対するアプローチ

若い人に対する調査



親子やカップルなど、大切な人との記念品を手作りで作りたと思いますか？

SNSを利用した調査

■ はい ● いいえ ● どちらでもない ● N = 120

会員制の提案

無料

¥300/月

¥3000~5000/月

陶葺様を顧客に身近に感じて
もらえる可能性

陶器使用からプラスチック削減まで

1. 若い人に陶器を知ってもらう
2. 若い人が特別な時に使う
3. 若い人が日常で使う
4. 若い人が陶器を永く使う
5. プラスチックの使用が減少する

⑤SUMMER PBL CAMP 2019~SDGs×働く環境~

連携企業：西垣金属工業株式会社



■実施時期

2019年8月26日～30日（短期PJ）

■参加者 合計：6名

京都産業大学（2名）

京都先端科学大学（1名）

同志社大学（2名）

立命館大学（留学生1名）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを提案せよ！

■概要

大学生の夏休み期間を利用し、短期プロジェクトを実施します。オスカー認定企業と連携し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを5日間で学生チームが提案する、短期集中インターンシップ型の課題解決プロジェクト。

企業訪問で感じた社長の「社員に任せる」経営スタイルから、「社員がいきいき働くことができる職場環境」の提案を行った。

■プロジェクトの結果・学生の学び

「社員がいきいきと働くことができる職場環境」をテーマに、エシカルな制服や工場で使用するエネルギーに関する提案を行った。

成長と進化を続ける京都のモノづくり企業から、時代や社会が変化してもなお、求められる「技術」こそ本物の技術であることを学んだ。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業について調査

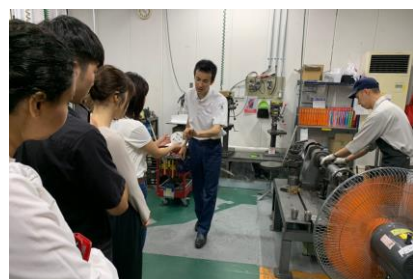


Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

課題解決に係るヒアリングを実施



Create

形にする
創造する

企画立案

社内の職場環境に関するアイデア
をチームで立案



中間報告

他の夏季プロジェクトメンバーへ
企画の途中経過を報告

企画のブラッシュアップ

他のプロジェクトメンバーから
フィードバックを受け企画を修正



Act

実行する

最終報告

社員がいきいきと働ける職場環境の
アイデアを提案

活動スケジュール

日程	内容	場所
2019年8月26日	<ul style="list-style-type: none"> ○キックオフミーティング <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの課題確認 ・京都企業についてレクチャー ・チームビルディング ○プロジェクト進行レクチャー <ul style="list-style-type: none"> ・会議の進め方についてレクチャー ・スケジュール作成 ○調査1 <ul style="list-style-type: none"> ・企業、業界研究 ・企業へのインタビュー項目作成 ○ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・2030SDGsカードゲーム 	グローバルセンター オフィス
2019年8月27日	<ul style="list-style-type: none"> ○グループワーク1 <ul style="list-style-type: none"> ・企業が取り組むSDGsの企画立案 ○調査2 <ul style="list-style-type: none"> ・企業におけるSDGsの取り組み事例調査 ○グループワーク2 <ul style="list-style-type: none"> ・企画書の作成 	グローバルセンター オフィス
2019年8月28日	<ul style="list-style-type: none"> ○企業訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・顔合わせ ・課題解決に係るインタビュー ○グループワーク3 <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問の振り返り ・企業の魅力を抽出 ○中間報告 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季PBL参加学生内で進捗報告 ・企画へのフィードバック ○グループワーク3 <ul style="list-style-type: none"> ・企画のブラッシュアップ 	グローバルセンター オフィス 西垣金属工業株式会社
2019年8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ○グループワーク4 <ul style="list-style-type: none"> ・企画のブラッシュアップ ・提案資料の作成 ○プレゼンテーションの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションのレクチャー ・プレゼンテーションの練習 ○最終報告会の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・提案資料の準備 	グローバルセンター オフィス
2019年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ○最終報告会 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の魅力を活かしたSDGsの取り組みを提案 ・企業からのフィードバック ・交流会 ○事後学習 <ul style="list-style-type: none"> ・5日間の振り返り 	グローバルセンター オフィス

○提案資料（一部抜粋）

企業内部への付加価値

- ・西垣金属工業の魅力を活かしたユニフォーム
- ・Re100企業認定
- ・ペットボトル量削減

ユニフォームに活かしてほしい

- ・フレキシブル
- ・進化、成長
- ・すべての人への思いやり



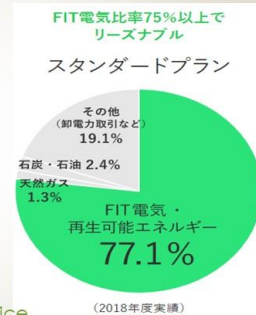
再生可能エネルギーを使用している企業

福島ミドリ株式会社

- ジャンパー：6,000円
- スラックス：3,700円
- エプロン：1,800円
- コート：8,500円
- 溶接帽：7,500円
- 腕抜き：4,000円
- 腕カバー：1,700円

みんな電気株式会社 料金プラン

スタンダードプラン	
基本料金	1,061.6円
基本料金	24.54円/kWh



<https://minden.co.jp/personal/price>

RE100企業

選ばれるには

- ・自社の敷地内に太陽光発電を導入し、必要な電力をまかなう
- ・自然エネルギーを利用した「グリーン電力」を購入

申請には達成目標を示す必要がある

事務所のメールに英文で毎年提出

- ・会社情報
- ・再生可能エネルギー100%達成
目標とする年
- ・達成方法

事例

『エバーグリーン・マーケティング』資本金1520万円

イーレックス株式会社+東京電力エナジーパートナー
共同出資会社

イーレックス株式会社 資本金51億円
環境面での付加価値を提供する会社

- ・バイオマス発電所や契約発電所が調達した再生可能エネルギー
由来の電気を供給
 - ・環境報告書を作成する企業・環境に配慮している企業の選択肢になる
- 供給事例 全国1300件以上の代理店
全国47社の会社とのコラボ

ペットボトル削減

2016年 国内ペットボ
トル製造量 232億本

日本の人口 約1億2700
万人

→ 1年間 1人あたり
183本



日本が強制的にリサイクルしなければならない理由

- ・20年で捨て場なくなるゴミの埋め立て問題
- ・50年で石油がなくなる！資源の枯渇問題
- ・世界中で多発するプラスチック・マイクロプラスチ
ックの問題

⑥SUMMER PBL CAMP 2019～SDGs×金襴・絹織物～

連携企業：株式会社伴戸商店



■実施時期

2019年8月26日～30日（短期PJ）

■参加者 合計：6名

京都産業大学（3名）

京都文教大学（1名）

同志社大学（1名）

立命館大学（留学生1名）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを提案せよ！

■概要

大学生の夏休み期間を利用し、短期プロジェクトを実施します。オスカー認定企業と連携し、企業の強みを活用したSDGsへの取り組みのアイデアを5日間で学生チームが提案する、短期集中インターンシップ型の課題解決プロジェクト。

伝統工芸品が生活の中に取り込まれるための工夫としてイベントや新サービスの提案を行った。

■プロジェクトの結果・学生の学び

「一人に一つは金襴を。」をテーマに、破れた衣類や品物のリペアやアップサイクルに金襴を用いるアイデアの提案を行った。デザインのデータや技術を何年もの間積み重ねてきた企業と連携したことで、長い歴史があるからこそできる事業やアイデアをもつ長寿企業の魅力を学んだ。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業について調査



Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

課題解決に係るヒアリングを実施



企画立案

アップサイクルのアイデアを立案

Create

形にする
創造する

中間報告

他の夏季プロジェクトメンバーへ
企画の途中経過を報告



企画のブラッシュアップ

他のプロジェクトメンバーから
フィードバックを受け企画を修正

Act

実行する

最終報告

アップサイクルを軸とした製品の
リペアアイデアを提案



活動スケジュール

日程	内容	場所
2019年8月26日	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認・京都企業についてレクチャー・チームビルディング○プロジェクト進行レクチャー<ul style="list-style-type: none">・会議の進め方についてレクチャー・スケジュール作成○調査<ul style="list-style-type: none">・企業、業界研究・企業へのインタビュー項目作成○ワークショップ<ul style="list-style-type: none">・2030SDGsカードゲーム	グローバルセンター オフィス
2019年8月27日	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク 1<ul style="list-style-type: none">・企業が取り組むSDGsの企画立案○企業訪問<ul style="list-style-type: none">・顔合わせ・課題解決に係るインタビュー○グループワーク 2<ul style="list-style-type: none">・企業訪問の振り返り・企業の魅力を抽出	グローバルセンター オフィス 株式会社伴戸商店
2019年8月28日	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク 3<ul style="list-style-type: none">・企画書の作成・提案資料の作成○中間報告<ul style="list-style-type: none">・夏季PBL参加学生内で進捗報告・企画へのフィードバック○グループワーク 4<ul style="list-style-type: none">・企画のブラッシュアップ	グローバルセンター オフィス
2019年8月29日	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク 5<ul style="list-style-type: none">・企画のブラッシュアップ・提案資料の作成○プレゼンテーションの練習<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーションのレクチャー・プレゼンテーションの練習○最終報告会の準備<ul style="list-style-type: none">・提案資料の準備	グローバルセンター オフィス
2019年8月30日	<ul style="list-style-type: none">○最終報告会<ul style="list-style-type: none">・企業の魅力を活かしたSDGsの取り組みを提案・企業からのフィードバック・交流会○事後学習<ul style="list-style-type: none">・5日間の振り返り	グローバルセンター オフィス

○提案資料（一部抜粋）

皆さんは「西陣」を知っていますか？
では「金らん」は...

京都＝西陣
京都≠金らん

金らんとは

金糸・金箔を織り交ぜた先染めの織物



伴戸商店の特徴

展示会年に各7回開催

in 京都本社
埼玉岩槻



伴戸商店HPより <https://www.e-bando.co.jp/exhibition/>

伴戸商店の特徴

ポリエステル

- ・ハイクオリティ＆ローコスト
- ・汎用性が高い

新たな用途

ライフスタイル



アパレル



内装



衣装

<https://l.wp.com/king06.com/wp-content/uploads/2017/05/04-7.jpeg?resize=600%2C404>
https://www.kenzai-navi.com/main/img_add/e-bando/19107_34541_9030.jpg

コンセプト

いろいろな人が金らんに触れて知ってもらい、
持続可能な社会を実現する

アップサイクル体験教室

×

展示会



- ▶ いつもの展示会の中に体験教室を取り込む
- ▶ 体験教室をメインした展示会

体験教室について



⑦服を通じて、豊かな未来を『服がつなく、未来PJ』

連携企業：株式会社ジーユー



■実施時期

2019年11月～2020年2月

■参加者 合計：8名

京都産業大学（2名）

京都光華女子大学（1名）

嵯峨美術大学（留学生1名）

同志社大学（2名）

佛教大学（1名）

龍谷大学（1名）

■学生への課題

株式会社ジーユーの実施するCSR活動を基に、
京都における「ジーユー」の新たな地域貢献活動や
社会貢献活動を提案せよ！

■概要

ファッションブランド「ジーユー」と協力し、“京都における”
新しい地域貢献活動・社会貢献活動を提案するプロジェクト。

社会課題、地域課題を企業の力で解決するというCSRの観点を
学びながら、大企業の特徴を生かした、社会課題の認知度を高める
アイデアの提案を行った。

■プロジェクトの結果・学生の学び

若い世代が社会課題を知らないこと自体が社会課題であるという
問題提起から、社会課題をファッションカタログと掛け合わせる
「カタログ」の提案を行った。

大企業でありながらも、京都という地域に根差していく意義を知り、
企業におけるCSRや社会課題をビジネスを通じて解決していく必要
性を学んだ。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業とアパレル業界について調査



Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

ジーユーの地域貢献活動についてヒアリング



Create

形にする
創造する

企画立案

京都における地域貢献活動
社会貢献活動の企画を立案



Act

実行する

中間報告

進捗の報告
企業から学生へのフィードバック



企画のブラッシュアップ

フィードバックを受け企画を修正

最終報告

京都における地域貢献活動
社会貢献活動の企画を提案

活動スケジュール

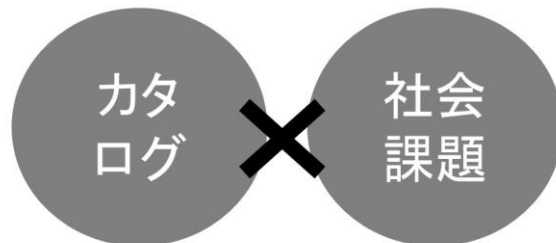
日程	内容	場所
2019年11月	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認・京都企業についてのレクチャー・企業、業界研究○グループワーク1<ul style="list-style-type: none">・SDGs、CSRについてレクチャー○実地調査<ul style="list-style-type: none">・阪南大学とジーユーのコラボ企画を見学・担当者と振り返りを実施	グローバルセンター オフィス 阪南大学
2019年12月	<ul style="list-style-type: none">○調査<ul style="list-style-type: none">・地域貢献活動、社会貢献活動の事例について・ジーユーのCSR活動について○グループワーク2<ul style="list-style-type: none">・京都における地域の課題についてブレインストーミング○企業訪問1<ul style="list-style-type: none">・課題解決に係るインタビュー・担当者との意見交換	グローバルセンター オフィス ジーユー店舗
2020年1月	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク3<ul style="list-style-type: none">・京都における地域貢献活動、社会貢献活動の 企画立案○オンラインミーティング<ul style="list-style-type: none">・中間報告・企業から学生へのフィードバック○グループワーク4<ul style="list-style-type: none">・企画のブラッシュアップ	グローバルセンター オフィス
2020年2月	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク5<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション準備・プレゼンテーション練習○企業訪問2<ul style="list-style-type: none">・最終報告・企業から学生へのフィードバック○事後学習<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの振り返り	グローバルセンター オフィス 株式会社ジーユー 有明本部

○提案資料（一部抜粋）

今回のご提案

カダログ

GU × 自由～自由を問い直す～



GU

流行を若者へ、安く。

= **認知・影響力**がある

まずは社会課題を
知ってもらうことが
重要なのでは？

○社会課題 × カタログ = カダログ（一部抜粋）

伝統「京町家」重大危機
Traditional decline

UNIQLO Corduroy Pantus ¥2,980

京都の歴史や文化、街並みの景観をかたちづくる「京町家」7年間に5602軒の京町家が消失している。背景には相続問題や維持管理の難しさがある。京都市は所有者に取り壊しの際に事前に届け出るよう義務化。規則だけでなく支援の施策を練っている。

Shape the history, culture, and cityscape of Kyoto
5602 townhouses disappeared in 7 years
In the background are inheritance problems and difficulties in maintenance.
Kyoto City is obliged to deliver in advance. We are formulating not only rules but also support measures.

トップス：kutir
アウター：GLOBAL WORK
パンツ：UNIQLO

⑧I and I make it ! Project～子供食堂・学生自習室～

連携企業：株式会社エクスクラメーション・スタイル

■実施時期

2019年11月～2020年2月



■参加者 合計：6名

京都産業大学（1名）

京都橘大学（2名）

同志社大学（1名）

立命館大学（留学生1名）

龍谷大学（1名）

■学生への課題

地域の子供や学生が

「みんなで楽しくご飯食べる食堂」と

「お互いに学び合える自習室」の運営方法を提案せよ！

■概要

発達障がい・精神障がい・知的障がいのある人の就労支援・訓練を提供されている株式会社エクスクラメーション・スタイルと一緒に、「みんなで楽しくご飯食べる食堂」と「お互いに学び合える自習室」の持続的な運営方法を提案するプロジェクト。

大学生と子供たちの交流を中心とした「子供食堂」と、交流を通じて社会と触れ合うきっかけとなる「自習室」の提案を行った。

■プロジェクトの結果・学生の学び

様々なロールモデルに出会える子供食堂＆自習室をテーマに、大学生と地域の子供たちが交流することで、子供たちが将来にワクワクすることができる運営方法の提案を行った。あらゆる人が関わる株式会社エクスクラメーション・スタイルとの連携から、ダイバーシティやインクルーシブな社会の本質を学んだ。また、企業が社会課題に取り組むことで地域の信頼を獲得し、地域に根差した持続的な企業として成長することの重要性を学んだ。

プロジェクトの流れ & 活動写真

!-style[!]

Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業について



Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

課題解決に係るヒアリングを実施

企画立案

子供食堂と自習室の
運営方法について企画を立案



Create

形にする
創造する

プレ食堂

プレイベントを実施
企業から学生へのフィードバック

企画のブラッシュアップ

フィードバックを受け企画を修正

Act

実行する

最終報告

子供食堂と自習室の
運営方法について企画を提案



活動スケジュール

日程	内容	場所
2019年11月	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認・京都企業についてのレクチャー・企業、業界研究○調査<ul style="list-style-type: none">・子供食堂の事例について・自習室の事例について	グローバルセンター オフィス
2019年12月	<ul style="list-style-type: none">○企業訪問1<ul style="list-style-type: none">・顔合せ・課題解決に係るインタビュー○グループワーク1<ul style="list-style-type: none">・子供食堂と自習室の企画の立案○プレ食堂の実施<ul style="list-style-type: none">・プレイベントの実施・企業から学生へのフィードバック・企画の実施に向けた協議	グローバルセンター オフィス 株式会社 エクスクラメーション・ スタイル
2020年1月	<ul style="list-style-type: none">○グループワーク2<ul style="list-style-type: none">・企画のブラッシュアップ○グループワーク3<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション準備・プレゼンテーション練習	グローバルセンター オフィス
2020年2月	<ul style="list-style-type: none">○企業訪問2<ul style="list-style-type: none">・最終報告会・企業から学生へのフィードバック○事後学習<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの振り返り	グローバルセンター オフィス 株式会社 エクスクラメーション・ スタイル

○提案資料（一部抜粋）

プロジェクト問題

- ・現代の家庭では6つのご食がある
⇒孤食、個食、固食、粉食、小食、濃食
- ・一人で食べたくないが、仕方なく「孤食」になってしまう
⇒食事の時間や場所が合わないなど
- ・週の半分以上、1日全ての食事を一人でしている「孤食」の人約15%
（出典）平成29年度 食育白書（平成30年5月29日公開）農林水産省より

孤食の原因

- 1980年代の社会問題
 - ⇒核家族化が進む
 - ⇒共働き家庭の増加
 - ⇒貧困世帯の増加



孤食の問題

- コミュニケーション能力の低下
 - マナーが身につかない
 - 生活リズムの乱れ
 - 栄養の偏り
 - 精神面の不安定
- 失われると子どもの発達に大きな影響をもたらす

子ども食堂の数・事例

- 日本全国で2200箇所を超え、少なくとも2280箇所あり、（2018/4/3）2016年の319箇所から、2年で7倍以上に増えた。
- 現在上京区では2つある。
 - ・子ども食堂なのはな
夏休み・春休みの月・木・金（不定期）
高校生まで無料、大人400円
 - ・ひとえつぎ食堂
月に2回（金）
大人500円、中高生300円、小学生200円、
キッズ（取り分けられる未就学児）100円、トドラ（乳幼児）無料

出所：京都市情報館,厚生労働省

子ども食堂運営イメージ

- 孤食の解決やコミュニティの場所として楽しめる場所
- 開催日⇒月2回（第一金曜日、第三金曜日）
- 料金時間⇒17：30～19：30（17：30～18：00 準備）
（18：00～19：00 食事） 19：30 解散
- 料金：（高校生まで）300円（大人）500円
- コンテンツ⇒テーマカード、好きな事等についてフリートーク

子ども食堂のメリット

- 手作りで温かい食事が格安で食べられる。
- アットホームな雰囲気ですぐ誰かと食事ができる。
- 子ども同士・親同士のコミュニケーションが取れる

子ども食堂の注意点

- 来てほしい家庭の子供や親に来てもらうことが難しい
- 運営費の確保が難しい
- 運営スタッフの負担が大きい
- 学校・教育機関の協力が得づらい
- 行政の協力が得づらい

運営形式

- ボランティアスタッフ（2名）+！スタッフ（2名）
⇒大学生のボランティアサークル
⇒ボランティアセンター
⇒地域ボランティア
- 子どもたちの集め方
⇒学校、児童館等にポスターを張る



⑨ 業界探求プロジェクト～食品加工業界・京の味～

連携企業：株式会社サン食品



■実施時期

2020年1月～2月（短期PJ）

■参加者 合計：6名

京都女子大学（2名）

京都情報大学院大学（留学生1名）

同志社大学（1名）

佛教大学（1名）

立命館大学（留学生1名）

■学生への課題

西京焼の魅力を再発見し、若者に魅力が伝わるようなSNSでの広報プランを提案せよ。

■概要

京都の食品会社として、こだわり抜いた西京焼を通して全国に食の喜びと健康の幸せを届けている株式会社サン食品と一緒にSNSでの広報と食品廃棄物の再利用方法を考え提案する 短期集中インターンシップ型のプロジェクト。

京都らしさをアピールする戦略や、有名キャラクターとのコラボアイデアの提案を行った。

■プロジェクトの結果・学生の学び

西京焼きをまず食べて知ってもらうことをテーマに、大学の食堂で西京焼きの試食会を実施し、SNSで試食会のチケットを配布するアイデアや、話題のYoutuberとのコラボアイデアなどの提案を行った。京都の伝統的な食文化を支える企業の努力や、伝統を伝えるために新たなチャレンジを繰り返す企業の姿勢から、京都企業が伝統と革新を大切することで持続的に発展してきた理由を学んだ。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業と食品業界について
調査



Think

アイデアを出す
発想する

アイデアブレスト

課題解決のためのアイデア出し



Create

形にする
創造する

企画立案

SNSの活用法、広報プラン
について立案



企画発表

SNSの活用法、広報プラン
について発表

Act

実行する

工場見学

工場内を見学
西京焼きの試食



活動スケジュール

日程	内容	場所
2020年1月	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認・京都企業についてのレクチャー・企業、業界研究○調査<ul style="list-style-type: none">・SNSの活用法について・京都の食文化について	グローバルセンター オフィス
2020年2月	<ul style="list-style-type: none">○ワークショップ<ul style="list-style-type: none">・会社説明・SNSの活用法、広報プランの立案・提案発表・企業から学生へのフィードバック○企業訪問1<ul style="list-style-type: none">・工場見学○事後学習<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの振り返り	グローバルセンター オフィス 株式会社サン食品 キャンパスプラザ京都

○ワークショップ&企業訪問の当日写真



会社説明の様子①



会社説明の様子②



グループワークの様子①



グループワークの様子②



発表の様子



工場見学の様子

⑩文化探究プロジェクト～織物編・ホンモノを作り続ける誉勘商店～ 連携企業：株式会社誉勘商店



■実施時期
2020年1月～2月（短期PJ）

■参加者 合計：5名
京都光華女子大学（留学生1名）
京都産業大学（1名）
佛教大学（1名）
立命館大学（2名内1名留学生）

■学生への課題

学生ならではの視点を活かした、
金襴・絹織物の新たな活用法を提案せよ。

■概要

創業260余年、京都室町で最高級の絹織物を製織しておられる株式会社誉勘商店と一緒に金襴、絹織物の新たな活用法を提案する短期集中インターンシップ型プロジェクト。

織物の展覧会準備にも参加し、絹織物の歴史や特性を学び、外国人観光客をターゲットにした製品アイデアの提案を行った。

■プロジェクトの結果・学生の学び

「絹織物・金襴」の奥深い歴史や文化、そして織物一つひとつに込められた思いを通じて、京都の老舗企業、伝統文化が世界から注目される所以を学んだ。

絹織物・金襴が着物や小物だけでなく、美術品や作品として鑑賞用として購入されるように、織物単体ではなくモノづくり企業が多い京都だからこそできる様々なコラボレーションのアイデアを提案した。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携企業と伝統文化について
調査



会社説明

金欄、絹織物について
レクチャー



Think

アイデアを出す
発想する

アイデアブレスト

課題解決のためのアイデア出し



Create

形にする
創造する

企画立案

金欄、絹織物の活用アイデア
について立案

企画発表

金欄、絹織物の活用アイデア
について発表



Act

実行する

展示会見学

展示会を見学

活動スケジュール

日程	内容	場所
2020年1月	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認・京都企業についてのレクチャー・企業、業界研究○調査<ul style="list-style-type: none">・京都の伝統文化について・金襴、絹織物について	グローバルセンター オフィス
2020年2月	<ul style="list-style-type: none">○展示会见学<ul style="list-style-type: none">・金襴、絹織物の歴史についてレクチャー○ワークショップ<ul style="list-style-type: none">・金襴、絹織物の活用アイデアの立案・提案発表・企業から学生へのフィードバック○事後学習<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの振り返り	グローバルセンター オフィス 株式会社誉勘商店

○ワークショップ&企業訪問の当日写真



レクチャーの様子①



レクチャーの様子②



レクチャーの様子③



グループワークの様子①



グループワークの様子②



集合写真

⑪ 京都中小企業家同友会 × GLOCAL ～合同企業説明会に新しい風を！～
連携企業：京都中小企業家同友会

社長と話せる
合同企業説明会



■実施時期
2020年1月～2月（短期PJ）

■参加者 合計：6名
京都大学（留学生1名）
京都産業大学（1名）
京都橘大学（1名）
立命館大学（1名）
龍谷大学（2名）

■学生への課題

学生目線を活かした、
学生が参加したくなる合同企業説明会を提案せよ！

■概要

地域企業とともに活動されておられる京都中小企業家同友会と一緒に、合同企業説明会の内容や企画の改善案を提案をするプロジェクト。

ワークショップ形式で学生が知りたい企業情報と、企業人が伝えたい情報の摺合せを行い、相互理解を深めながらアイデアをまとめ提案した。

■プロジェクトの結果・学生の学び

「学生が参加したくなる楽しい合説」をテーマに、会員企業の皆様とワークショップを実施し、「お祭り型合説」や「職業体験型合説」の提案を行った。

京都企業の社長との対話を通じて、地域経済を支える企業の役割やそこでの働く意義に触れ、地域企業で働く魅力を学んだ。

プロジェクトの流れ & 活動写真



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ



Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

連携団体と地域企業について
調査



ワークショップ

企業人と学生の合同ワークショップ

Think

アイデアを出す
発想する

アイデアブレスト

課題解決のためのアイデア出し



Create

形にする
創造する

企画立案

学生が参加したくなる合説
について立案



企画発表

学生が参加したくなる合説
について発表

Act

実行する

交流会

企業と学生の交流会



活動スケジュール

日程	内容	場所
2020年1月	<ul style="list-style-type: none">○キックオフミーティング<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの課題確認・京都企業についてのレクチャー・企業、業界研究○調査<ul style="list-style-type: none">・京都の中小企業について・合同企業説明について	グローバルセンター オフィス
2020年2月	<ul style="list-style-type: none">○企業人と学生の合同ワークショップ<ul style="list-style-type: none">・団体説明・新たな合同企業説明会の立案・提案発表・企業から学生へのフィードバック○事後学習<ul style="list-style-type: none">・プロジェクトの振り返り	グローバルセンター オフィス 京都経済センター

○ワークショップ&企業訪問の当日写真



団体説明の様子①



グループワークの様子①



グループワークの様子②



グループワークの様子③



発表の様子



発表をまとめたグラフィック

京都企業と連携した次代の京都を担う人財の育成事業（グローバル人材育成事業）
年次報告書

発行 令和2年3月

編集 特定非営利活動法人グローバル人材開発センター

〒602-8061

京都市上京区油小路中立売西入ル甲斐守町97番地

西陣産業創造会館（旧西陣電話局）2階

☎075-411-5010